

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 181 2022. 6. 1

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目698-1
大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 若杉研究室
日本教育情報学会 運営本部事務局 TEL: 090-1026-1413 FAX:050-3488-5061
E-mail: jsei@ml1.osaka-kyoiku.ac.jp http://jsei.jp/home/

日本教育情報学会 第38回年会の開催にあたって

教えるとは 希望を語ること 学ぶとは 誠実を胸に刻むこと

「ストラスブール大学の歌」におけるルイ・アラゴンの一節は良く知られています（「ストラスブール大学の歌」『アラゴン選集』大島博光ほか訳、飯塚書店、1979、p.151-153.）。第33回年会（芦屋大学：2017年8月）の記念講演にて、比嘉悟先生（当時、芦屋大学学長）も「未来を拓く“人間力”」を育む「芯」のひとつとして、この一節を紹介されました。

振り返ると、新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年度末から学校の一斉休校、さらには緊急事態宣言による行動制約など、私たちの生活や学びの環境が一変しました。この間、小学校、中学校、高等学校、そして大学における個々の教育現場では、児童・生徒・学生の学びを持続するためにも、さまざまな試行錯誤を経ながら数多くの工夫が積み重ねられました。私が研究対象にしている公立図書館の現場においても、「図書館を続ける」現場の図書館員の意志と想いを基盤に、図書館員同士の「ネットワーク」や「つながり」が重要であることの再確認がなされました。もちろん教育情報学の研究活動においても、さまざまな制約を克服し、多彩なアプローチを対象とする研究が蓄積されました。

こうした中で対面にて開催される第38回年会のテーマを「教育情報学の地平を拓く ―教育DXの推進に向けて―」と設定いたしました。本年度より、学会長が林徳治先生（甲子園大学）から安達一寿先生（十文字学園女子大学）へ引き継がれます。「理論と実践との架け橋」を推進した林先生の理念を確実に継承すると同時に、「豊かな教育情報の流通」を目指す日本教育情報学会は、コロナ禍の経験を乗り越えることに留まらず、教育のデジタル化と変革のさらなる加速を射程に入れ、これからの教育情報学の使命と展望を描くことが求められ続けています。基調講演では、新会長の安達先生と林先生の対談を予定しています。また、シンポジウムでは野末俊比古先生（青山学院大学）をコーディネーターとしてお招きし、教育DXによって実現する「近未来の教育像」を見据え、気鋭の5名の皆様より教育情報学としての道筋をご提示いただく予定です。特別セミナーでは角川武蔵野ミュージアム（埼玉県所沢市）の活動を中心に、プロジェクトマッピングなどの技術を用いたデジタル作品をはじめ、地域の学校との連携事業などについてお話いただく予定です。

年会は2年間（2020年度、2021年度）、新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面での開催が困難となりました。第38回年会は十文字学園女子大学（埼玉県新座市）にて、対面での開催となりました。会員の皆様と久々にお会いし、教育情報に関する研究交流を深めるとともに、「教えること」「学ぶこと」をともに語りあい、ともに刺激しあい、ともに再確認する機会にさせていただければ幸いです。十文字学園女子大学にてお待ちしております。

第38回 年会実行委員長 石川敬史

◆第 38 回年会開催要項

期日：2022 年 8 月 20 日（土）、21 日（日）

会場：十文字学園女子大学

<所在地> 〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28

<URL> <https://www.jumonji-u.ac.jp/>

事務局：日本教育情報学会 第 38 回年会実行委員会

<所在地> 〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28

十文字学園女子大学 教育人文学部 石川敬史研究室

048-477-0555(代表)

年会 Web ページ：<http://jsei-nenkai.jp/>

主 催：日本教育情報学会

後 援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、新座市教育委員会、志木市教育委員会、和光市教育委員会、朝霞市教育委員会、清瀬市教育委員会

日程：

1 日目 8 月 20 日（土）	
10:00 ~ 11:45	<p><課題研究> 8 号館 3 階、9 号館 2 階、3 階</p> <p>プログラミング教育研究会 【A 会場（9 号館 2 階）】</p> <p>教職開発研究会 【B 会場（9 号館 2 階）】</p> <p>IR 研究会 【C 会場（9 号館 2 階）】</p> <p>教育資料研究会 【D 会場（9 号館 3 階）】</p> <p>デジタルアーカイブ研究会 【E 会場（9 号館 3 階）】</p> <p>国際交流研究会 【F 会場（9 号館 3 階）】</p> <p>ICT 活用研究会 【G 会場（8 号館 3 階）】</p> <p>特別支援教育 AT 研究会 【H 会場（8 号館 3 階）】</p>
12:00 ~ 13:00	<p>昼食・休憩</p> <p>理事会・評議員会 7 号館 6 階</p>
13:15 ~ 13:45	<p>総会・学会賞表彰式 9 号館 4 階</p>
14:00 ~ 15:00	<p><基調講演> 9 号館 4 階</p> <p>日本教育情報学会の地平</p> <p>・講演：安達一寿（十文字学園女子大学 会長）</p> <p>・対談：安達一寿、林徳治（甲子園大学 前会長・顧問）</p> <p>（司会：石川敬史 十文字学園女子大学）</p>
15:15 ~ 17:30	<p><シンポジウム> 9 号館 4 階</p> <p>教育情報学の地平を拓く ―教育 DX の推進に向けて―</p> <p>・コーディネータ：野末俊比古（青山学院大学）</p> <p>・パネリスト（五十音順）</p> <p>荒木貴之（ドルトン東京学園）</p> <p>新しいスタイルの学びをマネジメントする視点・立場から</p> <p>伊藤博康（株式会社内田洋行 教育総合研究所）</p> <p>教育 DX に関連する技術を推進する視点・立場から</p> <p>登本洋子（東京学芸大学）</p> <p>新しい教授・学習法の実践・研究を推進する視点・立場から</p> <p>元木章博（鶴見大学）</p> <p>特別支援教育を中心とした個別最適な学びを推進する視点・立場から</p> <p>森雅生（東京工業大学）</p> <p>教育におけるデータ活用を推進する視点・立場から</p>

*1 日目夕方の懇親会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催いたしません。

2日目 8月21日(日)	
10:00 ~ 12:00	<p><課題研究> 8号館3階、9号館2階、3階</p> <p>プログラミング教育研究会 【A会場(9号館2階)】</p> <p>教職開発研究会 【B会場(9号館2階)】</p> <p>IR研究会 【C会場(9号館2階)】</p> <p>教育資料研究会 【D会場(9号館3階)】</p> <p>デジタルアーカイブ研究会 【E会場(9号館3階)】</p> <p>国際交流研究会 【F会場(9号館3階)】</p> <p>ICT活用研究会 【G会場(8号館3階)】</p> <p><一般研究> 8号館3階</p> <p>教育実践・他 【H会場(8号館3階)】</p>
12:00 ~ 13:15	昼食・休憩
13:15 ~ 14:15	<p><特別セミナー> 9号館4階</p> <p>ミュージアムを活用した新しい教育</p> <p>藤原みなみ(練馬区立美術館 前・角川武蔵野ミュージアム)</p>
14:30 ~ 17:15	<p><一般研究> 8号館3階、9号館2階、3階</p> <p>教育情報・デジタル 【B会場(9号館2階)】</p> <p>特別支援・幼児教育 【C会場(9号館2階)】</p> <p>中等教育・地域連携 【D会場(9号館3階)】</p> <p>遠隔・図書館・評価尺度 【E会場(9号館3階)】</p> <p>情報リテラシー・情報デザイン・メディアリテラシー</p> <p>【F会場(9号館3階)】</p> <p>プログラミング・デジタルアーカイブ 【G会場(8号館3階)】</p> <p>可視化・アクティブラーニング・eラーニング</p> <p>【H会場(8号館3階)】</p>

◆基調講演 (8月20日(土) 14:00~15:00) 9号館4階

日本教育情報学会の地平

- ・ 講演：安達一寿(十文字学園女子大学、会長)
 - ・ 対談：安達一寿、林徳治(甲子園大学、前会長・顧問)
- (司会：石川敬史 十文字学園女子大学)

日本教育情報学会は、1985年に木田宏元会長の元、産官学より多くの有識者が結集し設立され、今年で38年目を迎えた。設立当初より今日まで、教育情報に関する学際的な教育研究により得られた知見を基盤に、実践と理論の融合を目指し、会員相互間の交流や連携を図ってきている。さらに、後藤忠彦元会長、林徳治前会長によりその理念が「伝承」され発展を遂げてきた。

一方、時代は大きな変革期を迎えている。超スマート社会の到来によるAIやビッグデータといった先端技術の動向もさることながら、新型コロナウイルスの出現による社会や教育への影響、国際情勢不安等、持続可能な社会の実現に向けての課題も山積している。「これからの社会や教育に対応し、何を(研究内容)どのように(研究方法)考え、どこまで追究するべきなのか?そして、未来の創造に寄与する情報や知見は何か?」このことを痛烈に考えさせられる変化が今起きている。

これらの課題を解決し、それぞれのウェルビーイングを実現するためには、学会諸活動の質の向上と新たな取り組みが求められるところである。本学会のこれまでの流れを振り返りながら、会員の皆さんと共に、この課題に向かっての議論ができることを願っている。そのために、基調講演では、使命や展望に関する論点を提示したい。そのことが学会の地平を拓くことを期待したい。

◆シンポジウム (8月20日(土) 15:15~17:30) **9号館4階**

教育情報学の地平を拓く ―教育 DX の推進に向けて―

- ・パネリスト (五十音順)
 - 荒木貴之 (ドルトン東京学園)
新しいスタイルの学びをマネジメントする視点・立場から
 - 伊藤博康 (株式会社内田洋行 教育総合研究所)
教育 DX に関連する技術を推進する視点・立場から
 - 登本洋子 (東京学芸大学)
新しい教授・学習法の実践・研究を推進する視点・立場から
 - 元木章博 (鶴見大学)
特別支援教育を中心とした個別最適な学びを推進する視点・立場から
 - 森雅生 (東京工業大学)
教育におけるデータ活用を推進する視点・立場から
- ・コーディネーター
野末俊比古 (青山学院大学)

本シンポジウムは、大会テーマ「教育情報学の地平を拓く ―教育 DX の推進に向けて―」をそのまま掲げ、「教育 DX」について参加者とともに考えることを趣旨とする。教育情報学のこれからにつながる議論の場となればと願っている。

コロナ禍を通して教育を取り巻く状況が大きく変わりつつある。とりわけデジタル化をめぐっては、転換期を迎えていると思われる。すなわち、当初は、オンライン(リモート)によって授業を実施せざるを得ないなど、目前の課題に何とか対応している状況が続いていたが、やがてオンライン授業ひいてはデジタル化のメリット・デメリットや向き・不向きなどが見えてくるにつれ、私たちは、デジタル化によって実現すべき教育とは何かという本質的な問いに向き合わざるをえなくなっている。

いわゆるウィズコロナやアフターコロナの世界を構想・構築する段階に至ったいま、デジタル化をめぐり個別の課題を解決するに留まらず、教育における DX の推進という大きな流れに位置づけて全体像をとらえていくことが必要であろう。私たちに求められているのは、DX によって実現する「近未来の教育像」を見据えたうえで、ここから何をどのように進めていけばよいかという道筋を議論・形成していくことではないだろうか。

本シンポジウムは、上記のような認識に基づいて、教育情報学において「できること」「すべきこと」を追究していく契機となることをめざす。第一線で活躍される 5 名のパネリストに登壇いただき、それぞれの立場・視点から発言・討議を行なっていただくなかで、教育 DX をめぐるさまざまな論点を提示し、教育情報学が今後において担う役割について「見取り図」を描くことを試みたい。

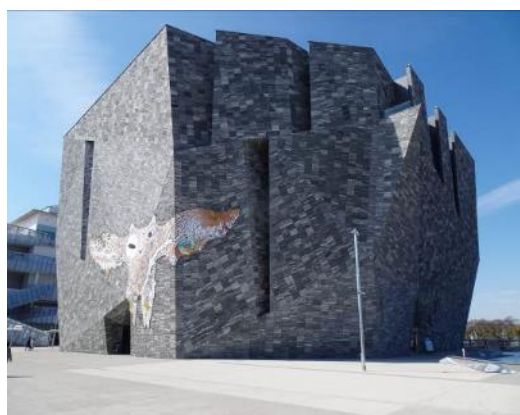
対面開催となる本シンポジウムにおいては、フロアからの質問・意見も積極的に受け付け、できるだけ多くの論点を取り上げることを心がけたい。必ずしも「答え」を急ぐのではなく、「問い」と「答えに向かうための素材・ヒント」を参加者とともに整理・共有する場となればと考えている。

◆特別セミナー (8月21日(日) 13:15-14:15) **9号館4階**

ミュージアムを活用した新しい教育

藤原みなみ (練馬区立美術館 前・角川武蔵野ミュージアム)

2020年に開館した角川武蔵野ミュージアムでは、図書・美術・博物の3館融合を目指している。年会開催校である十文字学園女子大学とは、図書のエリアを使った「本棚ワークショップ」を共同で開発した。この取り組みをはじめとして、開館から行ってきた地域の学校との連携事業を紹介したい。また当館で展示している、プロジェクションマッピングなどの映像を使ったデジタル作品を利用し、インタラクティブな学習を検討する機会としたい。



角川武蔵野ミュージアム



本棚劇場

角川武蔵野ミュージアム

所在地：〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 3-31-3

運営：公益財団法人角川文化振興財団

概要：図書館・美術館・博物館が融合した文化複合施設。編集工学者・松岡正剛、博物学者・荒俣宏、建築家・隈研吾、芸術学・美術教育の神野真吾による監修のもと、メインカルチャーからポップカルチャーまで多角的に文化を発信する。

開館時間・利用料金：Web ページを参照 <https://kadcul.com/>

アクセス：JR 武蔵野線「東所沢」駅から徒歩約10分

(開催校の十文字学園女子大学・最寄り駅「新座」駅の隣です。)

◆ 課題研究発表 20日(土) 午前

テーマ：GIGA スクール環境下におけるプログラミング教育の在り方と展望
(プログラミング教育研究会)
20日(土) 10:00 ~ 11:45
【A会場】9号館2階
コーディネーター：本郷健(大妻女子大学)、小熊良一(群馬大学)

- 1AA1 mBot を用いた小学校図画工作におけるプログラミング授業の実践
遠藤千裕(墨田区立八広小学校)、坂井岳志(日本教育情報学会)
- 1AA2 知的障害特別支援学校におけるプログラミング教育の研究動向の調査
小熊良一(群馬大学)、山本利一(埼玉大学)、本村猛能(日本工業大学)
- 1AA3 動画を活用したプログラミング教育の教育効果について(4)
ープログラミング体験講座(オンライン講座を含む)による
実践事例の分析と小学校出前授業での今後の課題ー
新垣さき(沖縄女子短期大学)、大森洋介(一般社団法人ツクル)、
比嘉勇太(沖縄女子短期大学)
- 1AA4 小学校プログラミング教育における授業目標と評価に関する研究
ー過去に発表された指導案を用いてー
赤羽泰(横浜国立大学)、山本光(横浜国立大学)

テーマ：教育DX推進のための授業技術・教材開発
(教職開発研究会)
20日(土) 10:00 ~ 11:45
【B会場】9号館2階
コーディネーター：佐藤典子(甲子園大学)、治京玉記(大阪夕陽丘学園短期大学)

- 1AB1 フィジカル空間とデジタル空間の融合による社会科教育の未来
ー3D地形データの活用による教材のDXー
濱田英毅(玉川大学)、高岡麻美(玉川大学)、平社和也(玉川大学)、
土田翼(玉川大学)、斉藤夏輝(玉川大学)
- 1AB2 オンライン模擬授業の訓練におけるチーム型授業研究の試行
古田紫帆(大手前大学)
- 1AB3 栄養教諭教育実習におけるデジタル教材の活用
佐藤典子(甲子園大学)
- 1AB4 協働的な学びを取り入れた教職科目の授業設計
藤本光司(芦屋大学)
- 1AB5 栄養士養成課程におけるオンラインの授業実施とその評価
ー栄養指導論基礎実習での取り組みー
吉田弘子(中村学園大学短期大学部)、大内田汐理(元中村学園大学短期大学部)

テーマ：教育 DX の推進における IR 研究・業務との連携の可能性 (IR 研究会)
20 日(土) 10:00 ~ 11:45
【C 会場】9 号館 2 階
コーディネーター：森雅生 (東京工業大学)、石井雅章 (神田外語大学)

- 1AC1 関係データベースの設計に関する圏論的手法への一考察
－IR データウェアハウス設計に対する堅牢性の確立へ向けて－
森雅生(東京工業大学)、今井匠太郎(東京工業大学)
- 1AC2 学生の多様化に対する IR の役割 －米国の取組に関する文献調査からの示唆－
橋本智也(大阪公立大学)、白石哲也(山形大学)
- 1AC3 IR におけるキーワード分析
－Eduinformatics における KPI 以外の評価軸について－
高松邦彦(東京工業大学)、森雅生(東京工業大学)、松本清(東京工業大学)、
今井匠太郎(東京工業大学)
- 1AC4 国立大学法人の中期計画の比較分析
－国立大学法人評価の評価結果を踏まえて－
高田英一(神戸大学)、森雅生(東京工業大学)、関隆宏(新潟大学)、
大石哲也(九州工業大学)、小柏香穂理(お茶の水女子大学)、
高松邦彦(東京工業大学)
- 1AC5 教育データの利活用における阻害要因の分析
－小・中等教育の教育データの連携による教育 DX への方案－
李善珠(筑波大学)

テーマ：新たな価値を見いだす個別最適化された学びと教育資料のあり方
(教育資料研究会)
20 日(土) 10:00 ~ 11:45
【D 会場】9 号館 3 階
コーディネーター：成瀬喜則 (富山大学)、又吉斎 (沖縄女子短期大学)

- 1AD1 メタバースにおける個人に最適化された遠隔協働学習の一試行
横山隆光(岐阜女子大学)、松川禮子(岐阜女子大学)、久世均(岐阜女子大学)、
櫛彩見(岐阜女子大学)、谷里佐(岐阜女子大学)、瀬戸敦子
- 1AD2 教育の DX 時代における “新たな学び” の在り方
－教育リソースと連携した e-Learning システムの構築－
久世均(岐阜女子大学)
- 1AD3 ICT 活用による探究的な学習支援と情報活用能力の育成
成瀬喜則(富山大学)、林誠一(富山大学)、木下夕嗣(富山大学)、
門井佳輝(富山大学)
- 1AD4 小学校社会科における遠隔協働学習の実践研究
－新たな学びの方法としての遠隔協働学習の在り方－
齋藤陽子(岐阜女子大学)、横山隆光(岐阜女子大学)、
菊池真也(岐阜女子大学)、眞喜志悦子(岐阜女子大学)
- 1AD5 課題解決に向けた個々の考えを表現させる学習教材の開発
鼎裕憲(富山市立新庄北小学校)、成瀬喜則(富山大学)

テーマ：DX 社会における教育へのデジタルアーカイブ活用

(デジタルアーカイブ研究会)

20日(土) 10:00 ~ 11:45

【E会場】9号館3階

コーディネーター：皆川雅章(札幌学院大学)、井上透(岐阜女子大学)

- 1AE1 地域資料デジタルアーカイブの教育への活用
－社会のDX化に対応したデジタルアーカイブの在り方－
井上透(岐阜女子大学)
- 1AE2 表装裂デジタルアーカイブの展開 －京都表具協同組合の取り組み－
宮本真未(岐阜女子大学)、田中浩(京都表具協同組合)
熊崎康文(岐阜女子大学)
- 1AE3 デジタルアーカイブを活用したふるさと教育の実践
熊崎孝之(岐阜県庁文化伝承課)、久世均(岐阜女子大学)、
磯村絢香(岐阜県立益田清風高等学校)
- 1AE4 地域学習における効果的な活用を目指した語りのデジタルアーカイブ
谷里佐(岐阜女子大学)

テーマ：ニューノーマル時代における教育・研究のグローバル化の在り方を考える

(国際交流研究会)

20日(土) 10:00 ~ 11:45

【F会場】9号館3階

コーディネーター：陳那森(関西国際大学)、清水義彦(富山県立大学)

- 1AF1 Research hotspots and trend analysis of programming education in China
－Visualization research based on co-word analysis－
NiKan (Gunma University)
- 1AF2 Investigation and research on current situation of ICT education in China
YueJianjia (Yangzhou University, China)、
BaoHuricha(Yangzhou University, China)
- 1AF3 中国人学習者における日本語助数詞の誤用調査と分析
王雪琪(曲阜師範大学)、韓慧(曲阜師範大学)
- 1AF4 中国における「長者食堂」の展開 －山東省日照市を例に－
韓慧(曲阜師範大学)、袁広偉(曲阜師範大学)
- 1AF5 日本の大学における入学前教育 －留学生の来日前準備教育への示唆－
陳那森(関西国際大学)、佐藤広志(関西国際大学)、中寫康二(関西国際大学)、
山下泰生(関西国際大学)、小川勤(静岡福祉大学)
- 1AF6 木構造を用いた Python プログラムの類似性評価手法の提案
包胡日查(揚州大学)、陳那森(関西国際大学)
- 1AF7 Moodle オンラインテストにおけるタグ機能の活用
袁広偉(曲阜師範大学)、韓慧(曲阜師範大学)

テーマ:ICT 活用による教育 DX の推進

(ICT 活用研究会)

20日(土) 10:00 ~ 11:45

【G会場】8号館3階

コーディネーター:河野敏行(岡山理科大学)、坂井岳志(世田谷区八幡小学校)

- 1AG1 オンラインによる講義支援ツールの利用
ーサポートツールの機能更新と利用例ー
河野敏行(岡山理科大学)
- 1AG2 ICT活用でコミュニケーション能力を育む ーデジタル絵本作りを通してー
公文美貴(愛知県常滑市立大野小学校)
坂本保代(株式会社マイクロブレイン)、上野真弓(家庭教育力研究所)
- 1AG3 白板ソフトを使った教材開発
坂本勝(株式会社マイクロブレイン)
- 1AG4 自分で作る振り返り動画の作成実践
ー学びを記録することで記憶定着・理解度につなげようー
坂本保代(株式会社マイクロブレイン)
- 1AG5 中学校国語科における情報活用能力の育成を目指した ICT 活用の実際
星野祐子(十文字学園女子大学)、井上彩里(埼玉大学)、
安達一寿(十文字学園女子大学)

テーマ:合理的配慮とアシスティブ・テクノロジー

(特別支援教育 AT 研究会)

20日(土) 10:00 ~ 11:45

【H会場】8号館3階

コーディネーター:新谷洋介(金沢星稜大学)、小川修史(兵庫教育大学)

- 1AH1 肢体不自由特別支援学校における ICT 活用ニーズ
金森克浩(帝京大学)
- 1AH2 特別支援学校における ICT 環境の整備・運用に関する調査
新谷洋介(金沢星稜大学)、金森克浩(帝京大学)、大井雅博(帝京大学)
- 1AH3 特別な配慮を必要とする児童・生徒への指導・支援のための
教育情報に関する研究 2
太田容次(京都ノートルダム女子大学)
- 1AH4 重度身体障害者の視線入力等を活用した eSpots 参加(4)
ー視線+ワンボタンによる様々な機器操作の発展ー
大杉成喜(皇學館大学)、金森克浩(帝京大学)、新谷洋介(金沢星稜大学)、
伊藤史人(島根大学)、岡元雅(みやび Project)
引地晶久(できわかクリエイターズ)
梶山紘平(無慈悲良品カジダスチャンネル)
- 1AH5 肢体不自由特別支援学校における eSports 実践の工夫
ーScratch 言語プログラミングによる競技ゲームソフトの作成方法ー
福島俊亮(埼玉県立熊谷特別支援学校)、岡部建次(次世代研)
- 1AH6 バーチャル空間を利用した他地域遠隔交流による学習活動実践報告
ー教育版マイクラフトマルチプレイによる発達障害のある不登校児童支援ー
両川晃子(信州大学医学部附属病院)、福島学(多久市教育委員会)、
星野尚(那須町教育委員会)、村瀬キノコ(マッシュ&ルーム)、
マイクラ好きな子と母の会
- 1AH7 特別支援教育関連科目のオンラインコンテンツ化
ーオンデマンド講義の有用性についてー
爲川雄二(帝京大学)

◆ 課題研究発表 21日(日) 午前

テーマ：GIGA スクール環境下におけるプログラミング教育の在り方と展望
(プログラミング教育研究会)
21日(日) 10:00 ~ 12:00
【A会場】9号館2階
コーディネーター：本郷健(大妻女子大学)、小熊良一(群馬大学)

- 2AA1 設計学習を支援するAR技術の活用
竹澤則乃(さいたま市立八王子中学校)、山本利一(埼玉大学)、
金澤彰裕(山形大学附属中学校)
- 2AA2 初等教育におけるプログラミング学習教材のデジタルアーカイブ基礎研究(2)
比嘉勇太(沖縄女子短期大学)
- 2AA3 GIGA スクール端末を有効に活用するための「プログラミング授業 Style」
— 端末活用状況に関するアンケート結果とプログラミング授業の事例をとおして —
望月陽一郎(大分県立芸術文化短期大学)
- 2AA4 プログラミング的思考に求められるもの
— プログラミング教育必修化に向けて —
北川文夫(岡山理科大学)

テーマ：教育DX推進のための授業技術・教材開発 (教職開発研究会)
21日(日) 10:00 ~ 12:00
【B会場】9号館2階
コーディネーター：佐藤典子(甲子園大学)、治京玉記(大阪夕陽丘学園短期大学)

- 2AB1 道徳教育の要とされる道徳科の実践力を育てる授業に関する考察
— 教職課程「道徳教育論」の授業実践を踏まえて —
奥村信夫(滋賀大学教育学部附属中学校)
- 2AB2 動画作りと学校間交流を通じて学ぶ情報教育プログラム
三田薫(実践女子大学短期大学部)、及川麻衣子(山野美容芸術短期大学)
- 2AB3 教育DX推進を目的とした1人1台PCの利用と展望について
治京玉記(大阪夕陽丘学園短期大学)
- 2AB4 栄養教諭養成課程における「特別活動論」の実践
— 効果的な教材開発を通して —
泉廣治(甲子園大学)、林徳治(甲子園大学)

テーマ：教育DXの推進におけるIR研究・業務との連携の可能性 (IR研究会)
21日(日) 10:00 ~ 12:00
【C会場】9号館2階
コーディネーター：森雅生(東京工業大学)、大石哲也(九州工業大学)

- 2AC1 公開情報を活用したマスターデータ作成の取り組み
今井匠太郎(東京工業大学)、森雅生(東京工業大学)
- 2AC2 基礎ゼミ e-learning の結果解析から始めるIR
室谷心(松本大学)、矢崎久(松本大学)、上條直哉(松本大学)

- 2AC3 本質的 IR 人材育成カリキュラム策定に向けた個別調査の設計
 －Web アンケート調査の結果を元に－
 大石哲也(九州工業大学)
- 2AC4 オンデマンド型動画教材における詳細な視聴ログ収集とその活用
 －教材および受講者指導の改善にむけた視聴状況の可視化－
 西出崇(小樽商科大学)

テーマ：新たな価値を見いだす個別最適化された学びと教育資料のあり方

(教育資料研究会)

21日(日) 10:00～12:00

【D会場】9号館3階

コーディネーター：成瀬喜則(富山大学)、又吉斎(沖縄女子短期大学)

- 2AD1 保育実習(保育所)における実習協議に関する研究
 －実習協議の実態から指導の在り方を探る－
 高村真希(北陸学院大学)
- 2AD2 幼児の表現力を引き出す音源の創作2
 堀田彩乃、齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 2AD3 『沖縄おうらいー英語による紙芝居 with Teacher's Manual』の
 小学校英語教育への活用について
 －沖縄の食文化を英語で伝えるためのレシピの教材化－
 又吉斎(沖縄女子短期大学)、山中マーガレット(岐阜女子大学)
- 2AD4 デジタル人材教育のカリキュラムに関する研究
 －デジタル人材テキスト分析から－
 鈴木秀顕(松蔭大学)
- 2AD5 大学周辺地域における事故多発交差点の事故要因に対する対策と評価
 －地域課題解決への取り組み－
 及川浩和(岐阜協立大学)

テーマ：DX 社会における教育へのデジタルアーカイブ活用

(デジタルアーカイブ研究会)

21日(日) 10:00～12:00

【E会場】9号館3階

コーディネーター：皆川雅章(札幌学院大学)、井上透(岐阜女子大学)

- 2AE1 デジタルアーカイブ用コンテンツの講義利用
 －オンライン教材への画像データ組込みと効果－
 皆川雅章(札幌学院大学)
- 2AE2 分散型デジタルコモンズサービス d-commons.net による包摂的地域学習支援
 前川道博(長野大学)
- 2AE3 デジタルアーカイブにおける選定評価ならびにストック&フローに関する考察
 －知識循環と選定評価について改めて考える－
 町英朋(常磐大学)
- 2AE4 地域資料のデータベース化と小学校への教材資料提供について
 －コロナ禍における小学校と高等教育機関の連携のあり方の検討を通して－
 富村寿也(沖縄女子短期大学)

テーマ：ニューノーマル時代における教育・研究のグローバル化の在り方を考える
(国際交流研究会)
21日(日) 10:00 ~ 12:00
【F会場】9号館3階
コーディネーター：陳那森(関西国際大学)、清水義彦(富山県立大学)

- 2AF1 歴史的建造物を利用した目付字体験の実践報告
－三宜楼の下地窓12種類を利用して－
上野真弓(家庭教育力研究所)
- 2AF2 ニューノーマル時代でも活躍できる人材育成のあり方(試案)
－国際交流委員会の活動の1つを目指して－
清水義彦(富山県立大学)、郡司穰(株式会社アップグレード)、
陳那森(関西外国語大学)、林徳治(甲子園大学)
- 2AF3 留学生のキャリア教育と就業に関する意識の分析
田中聖華(横浜商科大学)、総田はるみ(横浜商科大学)
- 2AF4 留学生を交えたラーニングコミュニティ形成
齋藤勝洋(関西国際大学)
- 2AF5 ニューノーマル時代を見据えたグローバル人材育成の試み
－外国語を活用するキャリアと国際共修－
総田はるみ(横浜商科大学)、
SRDANOVICIrena(Juraj Dobrila University of Pula)

テーマ：テーマ：ICT活用による教育DXの推進 (ICT活用研究会)
21日(日) 10:00 ~ 12:00
【G会場】8号館3階
コーディネーター：河野敏行(岡山理科大学)、坂井岳志(世田谷区八幡小学校)

- 2AG1 クラウド上に共同で作る「協創的に学ぶ場」の可能性
－scrapboxやメタバースを入口として－
坂井岳志(世田谷区立八幡小学校)
- 2AG2 芸術科書道における技能向上に着目したICTの活用及び指導法
富山歩未(北海道教育大学)、佐藤正直(北海道教育大学)、
西川竜矢(北海道教育大学)、中島寿宏(北海道教育大学)
- 2AG3 小学校におけるGIGA端末の効果的な授業活用と課題
－東京都公立小学校における実践から－
片柳木の実(調布市立若葉小学校)
- 2AG4 GIGAスクール環境におけるログイン履歴の時系列傾向
－Windows+LGate環境による傾向－
豊福晋平(国際大学)

◆ 一般研究発表 21日(日) 午前

教育実践・他

20日(土) 10:00 ~ 12:00

【H会場】8号館3階

座長：納庄聡（岡山学院大学）、今澤宏太（大阪教育大学附属天王寺中学校）

- 2AH1 プログラミング的思考を目的とした自己調整学習に関する研究(6)
納庄聡(岡山学院大学)、若杉祥太(大阪教育大学)
- 2AH2 高等学校における授業実践研究の文化の醸成と
組織的な授業改善の推進を目指した実証研究
木原裕紀(大阪府立寝屋川高等学校)、若杉祥太(大阪教育大学)
- 2AH3 データサイエンス教育に関する実証研究(1)ーデータの収集・整理に着目してー
永田侑大(芦屋学園中学校・高等学校)、若杉祥太(大阪教育大学)、
木村悠人(大阪府立泉北高等学校)、納庄聡(岡山学院大学)
- 2AH4 データサイエンス教育導入への試みー初年次情報科目での実践報告ー
石野邦仁子(淑徳大学)、松山恵美子(淑徳大学)
- 2AH5 2歳児におけるICT活用の実践と省察
松本拓也(社会福祉法人小規模園第一ニューリーブス)、
若杉祥太(大阪教育大学)
- 2AH6 高等学校情報科におけるデータサイエンス教育に関する考察
木村悠人(大阪府立泉北高等学校)、若杉祥太(大阪教育大学)、
永田侑大(芦屋学園高等学校・中学校)、納庄聡(岡山学院大学)
- 2AH7 特別支援学級における個別最適化を目指した体験的な学習
土肥由起子(宝塚市立御殿山中学校)
- 2AH8 デジタル・シティズンシップ教育の展望と課題
林泰子(芦屋大学)、若杉祥太(大阪教育大学)、藤本光司(芦屋大学)
反田愛(芦屋大学)
- 2AH9 中学校数学科における統計的探究プロセス Plan の相に関する実態調査
今澤宏太(大阪教育大学附属天王寺中学校)、若杉祥太(大阪教育大学)

◆ 一般研究発表 21日(日) 午後

教育情報・デジタル

21日(日) 14:30 ~ 17:15

【B会場】9号館2階

座長：金宰郁(松蔭大学)、立野貴之(玉川大学)

- 2PB1 ビジネスゲームにおける視線行動の計測に関する一考察
立野貴之(玉川大学)、若山昇(帝京大学)、加藤由樹(相模女子大学)、
加藤尚吾(東京女子大学)
- 2PB2 1人1台情報端末やクラウドを日常的に活用している学級における
授業の分析の試み
渡邊光浩(鹿児島女子短期大学)、八木澤史子(千葉大学)、
久川慶貴(春日井市立藤山台小学校)、堀田龍也(東北大学大学院)
- 2PB3 文系大学生の基礎的な計算力育成
ーオンライン授業の取組みを生かした対面型授業の試みー
皆川雅章(札幌学院大学)
- 2PB4 企業倫理についての一考察 ー倫理と資本主義ー
池田聡(芦屋大学)
- 2PB5 ボランティアによる学校へのICT支援
桜庭望(八洲学園大学)
- 2PB6 産学連携チャレンジプログラムを活用した授業設計
清水健太(松蔭大学)、立野貴之(玉川大学)、田中聖華(横浜商科大学)
- 2PB7 小学生が認知症高齢者への共感的理解を深めるための
人型ロボットによる学習支援
榊田聖子(大阪公立大学)、三上滉史(大阪府立大学)、
高田賀章(大阪府立大学)、平直幹(大阪府立大学)、
真嶋由貴恵(大阪公立大学)
- 2PB8 電子黒板による板書とタブレット端末によるデジタルノートの書き方の指導
坂本徳弥(椋山女学園大学)
- 2PB9 College Analysis への機能追加 ー多変量解析におけるデータ分類法ー
奥田由紀恵(福山平成大学)、細川光浩(福山平成大学)、
福井正康(福山平成大学)
- 2PB10 大学における電子学生証の安全性と適用方法
金宰郁(松蔭大学)、立野貴之(玉川大学)

特別支援・幼児教育

21日(日) 14:30 ~ 17:15

【C会場】9号館2階

座長：小川修史(兵庫教育大学)、大沢裕(松蔭大学)

- 2PC1 発達障害児に対するICT導入の事前検討の促進を志向した
アプリ検索システムの設計
小川修史(兵庫教育大学)
- 2PC2 スクラッチを利用した就学前親子学習の実践報告
近江戸貴子(関西学院大学)、上野真弓(家庭教育力研究所)
- 2PC3 特別なニーズ教育のデジタル教科書の現状 ー特別支援教育の視点からー
大井雅博(帝京大学)、金森克浩(帝京大学)、大杉成喜(皇學館大学)

- 2PC4 特別支援学校における1人1台端末を活用して
児童生徒の情報活用能力を育む段階的スキルの検討
ータブレット端末を「次世代の文房具」「次世代の教材・教具」として
活用するためにー
高橋正義(秋田県立能代支援学校)、金森克浩(帝京大学)
- 2PC5 特別支援学校紀要文献情報検索システムの作成 ー必要性の検討と設計ー
岡部建次(次世代研)、福島俊亮(埼玉県立蓮田松韻高等学校)、
佐藤稔(次世代研)
- 2PC6 ICTを活用したオンラインによる外国語活動及び外国語の指導
ー肢体不自由特別支援学校の事例に着目してー
河野文子(筑波大学附属桐が丘特別支援学校)
- 2PC7 ASD学生のシームレスな移行支援に関する総合的な考察
ー就労支援事業所の活用、セルフ・アドボカシー・スキルの育成、
自己トリテの活用ー
小川勤(静岡福祉大学)
- 2PC8 幼稚園教諭の資質向上を目指すキャリアステージにおける講座の在り方の研究
ー幼児教育の新たなキャリアである幼児教育コーディネータの養成ー
久世均(岐阜女子大学)、齋藤陽子(岐阜女子大学)
- 2PC9 特別支援学校生徒による図形キューブ教材問題集作成のシステム化
福島俊亮(埼玉県立熊谷特別支援学校)、岡部建次(次世代研)
- 2PC10 保育の安全における専門的技術に関する考察
ー水遊び場面におけるリスク察知の熟達差を通してー
大沢裕(松蔭大学)、立野貴之(玉川大学)、野末晃秀(青山学院大学)

中等教育・地域連携

21日(日) 14:30 ~ 17:15

【D会場】9号館3階

座長：相澤崇(都留文科大学)、登本洋子(東京学芸大学)

- 2PD1 中学校技術科における情報教育の学習活動の変遷
相澤崇(都留文科大学)
- 2PD2 身近な地域をフィールドにした総合学習の構想
ー社会科における地域学習と結びつけてー
奥村信夫(滋賀大学教育学部附属中学校)
- 2PD3 中等技術科での使用を想定した防災教材(ライト)の開発
ー備えの空白を埋める新教材の開発概要の報告ー
成瀬優享(芦屋大学)、盛谷亨(芦屋大学)、信藤卓也(日本山村硝子株式会社)、
佐藤緑(日本山村硝子株式会社)
- 2PD4 看護の安全教育の環境構築に関する考察
小野坂益成(松蔭大学)、立野貴之(玉川大学)、長嶋祐子(駒沢女子大学)、
金宰郁(松蔭大学)
- 2PD5 教員養成におけるオンラインを使ったイノベティブ教育の試行
ー総合的な探究の時間に向けてー
山崎宣次(山梨県立大学)、羽野ゆつ子(大阪成蹊大学)、井藤元(東京理科大学)
- 2PD6 高等学校情報科「情報I」の教科書における情報リテラシーの指導内容の調査
小熊良一(群馬大学)、山本利一(埼玉大学)
- 2PD7 高等学校情報科の検定済教科書「情報I」における記載内容の特徴
小河智佳子(広島修道大学)
- 2PD8 「総合的な探究の時間」に関する高校生の意識調査
登本洋子(東京学芸大学)、牛玄(東京学芸大学)、藤村祐子(東京学芸大学)、
西村圭一(東京学芸大学)、溝上慎一(桐蔭学園)

遠隔・図書館・評価尺度

21日(日) 14:30 ~ 17:15

【E会場】9号館3階

座長：及川浩和(岐阜協立大学)、加藤亮介(日本大学)

- 2PE1 小学生を対象とした「豊かな学びの評価尺度」の開発
及川浩和(岐阜協立大学)、埴岡靖司(岐阜県山県市立高富小学校)、
臼井悠一(岐阜大学)、山崎宣次(山梨県立大学)
- 2PE2 小学生を対象にした「豊かな学びの評価尺度」による授業評価
埴岡靖司(岐阜県山県市立高富小学校)、臼井悠一(岐阜大学)、
及川浩和(岐阜協立大学)、山崎宣次(山梨県立大学)
- 2PE3 「書道」における ICT を活用した授業支援
田島萌乃(十文字学園女子)、穂苅真里子(日本書道美術院)
- 2PE4 自治体の行政計画等における社会教育施設の位置づけについて
中岡貴裕(和光市教育委員会)
- 2PE5 遠隔授業におけるアクティブラーニングの実践
岡田工(東海大学)、立野貴之(玉川大学)、宮川幹平(東海大学)
土屋守正(東海大学)
- 2PE6 全国移動図書館実態調査の意義と課題
石川敬史(十文字学園女子大学)
- 2PE7 学習者に最適化した文献検索(探索)システムの構想
－「近未来の図書館と新しい学び」研究プロジェクトの取り組み－
野末俊比古(青山学院大学)、鈴木祐介(富士通 Japan 株式会社)、
越前谷直之(富士通株式会社)、竹内祐喜(富士通 Japan 株式会社)
- 2PE8 学修者の性格特性からみるオンライングループワークの適性
加藤亮介(日本大学)、吉野大輔(日本大学)、
新行内康慈(十文字学園女子大学)

情報リテラシー・情報デザイン・メディアリテラシー

21日(日) 14:30 ~ 17:15

【F会場】9号館3階

座長：山本朋弘(中村学園大学)、阿久津毅(昭和学院短期大学)

- 2PF1 授業での AI 体験が教員養成系大学生の AI の教育利用に関する
意識に及ぼす効果の分析
山本朋弘(中村学園大学)
- 2PF2 VR を活用したバーチャル卒業研究発表会の試行と意識調査
河合麗奈(慶應義塾大学)、伊藤大河(共栄大学)
- 2PF3 コンピュータリテラシーの変化について
仲村篤(沖縄女子短期大学)
- 2PF4 SNS 等へ投稿された特定の個人を識別できる画像に関する考察
伊藤大河(東京学芸大学)、河合麗奈(慶應義塾大学)、山本利一(埼玉大学)
- 2PF5 オンライン授業におけるコミュニケーション活動の考察
藤巻貴之(目白大学)、立野貴之(玉川大学)、加藤尚吾(東京女子大学)、
加藤由樹(相模女子大学)
- 2PF6 情報リテラシーのための批判的思考を育成するグループワークの実践
若山昇(帝京大学)、立野貴之(玉川大学)
- 2PF7 社会科教育における 3D プリンター活用の実践と課題
－STEAM 教育を実現するためのハードルについて－
土田翼(玉川大学)、堀江ひな(玉川大学)、三橋一喜(玉川大学)、
原光虹朗(玉川大学)、味方雄大(玉川大学)、濱田英毅(玉川大学)、
平社和也(玉川大学)

- 2PF8 Scratch を用いた安全なパスワードを作成する体験の学習効果
西脇勇斗(鳴門教育大学)、岡朋哉(鳴門教育大学附属小学校)、
阪東哲也(鳴門教育大学)
- 2PF9 シナリオによる Emotet 対策演習の実践
増山一光(神奈川県立相原高等学校)
- 2PF10 短期大学生のインターネットリテラシに関する調査
阿久津毅(昭和学院短期大学)

プログラミング・デジタルアーカイブ

21日(日) 14:30 ~ 17:15

【G会場】8号館3階

座長：工藤雄司(茨城大学)、尾崎誠(福山平成大学)

- 2PG1 体系的な情報教育における計測・制御教材の提案
工藤雄司(茨城大学)、本村猛能(日本工業大学)、
横山駿也(飯能市立飯能第一中学校)
- 2PG2 データサイエンス教育の高等学校及び大学に於ける実践報告
弓林司(株式会社ブレインパッド)、本郷健(大妻女子大学)、
山井克之(株式会社シー・アイ・シー)
- 2PG3 教育映画の視聴効果の調査研究 —持永只仁の人形映画上映を通して—
角和博(佐賀大学)、古川美樹(武雄市立北方小学校)、本村猛能(日本工業大学)
- 2PG4 技術分野における思考力・判断力・表現力を育む情報教育の一検討
横山駿也(飯能市立飯能第一中学校)、本村猛能(日本工業大学)、
工藤雄司(茨城大学)
- 2PG5 小学生のプログラミング教育の試行
—学校教育と F 分類 (学校以外を会場として実施するもの) との関係—
大杉成喜(皇學館大学)
- 2PG6 岐阜の過去の教育実践資料を用いた沖縄の小学校での実践結果と課題
—過去 (1968 年~1980 年) の教育リソースを活用した学力向上への取り組み—
眞喜志悦子(岐阜女子大学)
- 2PG7 製品モデル開発における生徒の参加行動の分析
青山慶(岩手大学)、加藤佳昭(岩手大学教育学部附属中学校)
- 2PG8 デジタルアーカイブ構築・公開用ワードプレスプラグインの開発
若山皖一郎(KANSE Lab)
- 2PG9 College Analysis への機能追加 —和積計算とフーリエ級数—
細川光浩(福山平成大学)、奥田由紀恵(福山平成大学)、福井正康(福山平成大学)
- 2PG10 算数文章題をコンピュータで自動作成し学年に応じた内容に編集する
システムの作成
佐藤稔(次世代研)、岡部建次(次世代研)
- 2PG11 遠隔授業におけるプログラミング教育の問題点
尾崎誠(福山平成大学)

- 2PH1 動画字幕のキーフレーズ可視化
ー第二言語で作成されたオンライン動画活用のためにー
岸康人(高知学園短期大学)、立野貴之(玉川大学)、
來栖正博(高知学園短期大学)、金幸郁(松蔭大学)
- 2PH2 学習内容の記憶想起を促す記憶再生マップの初期値に関する研究
古川美樹(武雄市立北方小学校)、角和博(佐賀大学)、岩永雅也(放送大学)
- 2PH3 中学校でのICT活用海外交流学习における障害
ー教員の意識調査をもとに検証ー
清水義彦(富山県立大学)
- 2PH4 機械学習技術を用いた学習・研究分野の提案を行うサービスの開発
橋本辰浩(松蔭大学)、金幸郁(松蔭大学)
- 2PH5 防災教育のための自動生成による土砂移動現象と
3次元建物モデル間の相互作用の可視化システムの開発
村瀬孝宏(中京学院大学)、杉原健一(金沢大学)
- 2PH6 対面、オンライン、ハイフレックス授業における
ループリックデータの差異についての一考察
白川雄三(大阪学院大学)、金崎暁子(大阪学院大学)
- 2PH7 「汎用的能力」に関する成長実感調査についての実証的研究
川上将広(大阪学院大学)、呉亜矢(大阪学院大学)、白川雄三(大阪学院大学)、
金崎暁子(大阪学院大学)
- 2PH8 外部評価を用いた短期大学内部質保証についての考察
呉亜矢(大阪学院大学)、川上将広(大阪学院大学)、白川雄三(大阪学院大学)、
金崎暁子(大阪学院大学)
- 2PH9 教職課程における『生徒指導』教材の開発
泉廣治(甲子園大学)、林徳治(甲子園大学)

◆開催方法について

- ・十文字学園女子大学（埼玉県新座市）を会場とする「対面方式」の開催といたします。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出等により「対面方式」での開催が困難になった場合、年会 HP やメールマガジン等にてお知らせいたします。
- ・年会の参加にあたっては、以下の感染対策にご協力をお願いいたします。
 - ・常時マスクの着用をお願いします。
 - ・来校時に手指消毒と検温を行ってください。
 - ・受付、発表会場等においては、参加者自身による配布資料の受け取りといたします。
 - ・教室内の換気（ドア、窓の常時開放）をいたします。
 - ・休憩室、飲食時においてはマスクを外しての会話はお控えください。
 - ・各日ともに、参加セッション（教室）の記録をお願いします（詳細は、当日お知らせいたします）。
- ・以下の場合は年会への参加をお控えいただき、年会 HP の問い合わせ（http://jseinenkai.jp/?page_id=24）よりご連絡ください。下記の QR コードもご利用ください。

- ・発熱があった場合や咳などの症状がある場合
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
- ・この場合、年会参加費については発表のない方のみ返金対応いたします。詳細につきましては年会実行委員会へお問合せください。



第 38 回の年会は、感染対策を講じての初めての大会となります。ご参加いただく皆様が安心して参加できるよう実行委員会にて鋭意準備を進めておりますが、会員の皆様におかれましても、ご自身で感染対策を徹底してご参加いただきますよう、何卒、ご理解とご協力を賜れば幸いです。

◆年会開催までのスケジュール

原稿提出期間	2022 年 6 月 1 日(水)～7 月 4 日(月)
参加申込期間	2022 年 6 月 1 日(水)～8 月 5 日(金)
論文郵送申込期間	2022 年 6 月 1 日(水)～8 月 5 日(金)

※原稿提出締め切りが例年より早くなっていますのでご注意ください。

◆原稿提出方法

- ・原稿は年会 HP 内の執筆要綱に従って作成していただき、PDF 形式に変換後、「原稿提出」フォームからご提出ください。**締め切りは、7 月 4 日（月）厳守です。**
- ・提出するファイル名は本ニューズレターに記載されている 4 桁の発表者コード（半角英数字（発表タイトルの前に記載））としてください。
- ・発表申込した（本ニューズレター掲載の）タイトル、発表者、所属等から変更がある場合は、備考欄に必ずその旨を記載してください。

◆発表会場で使用できる機器等

- ・発表会場で使用できる機器は、スクリーンとプロジェクターです。
- ・パソコンは各自で持参してください。
- ・なお、プロジェクターと接続できる端子はVGA端子となります。一部の会場ではHDMI端子を使用できますが、HDMI端子を使用できない会場もあります。VGA端子への接続を必ずご準備ください。
- ・Wi-Fiのゲスト使用も準備する予定です。詳細は年会の当日にお知らせします。

◆年会参加方法

参加申込の際には、下記参加費等の振込完了後、年会HP内の「各種申込み」メニューから「参加申込」フォームを選択して参加手続きを行ってください。

【振込先】

銀行名：三菱UFJ銀行
店番：483 芦屋支店
口座番号：普通 0171778
口座名義：日本教育情報学会 年会企画委員会

- ・振込名義は本人（参加申込者）としてください。
- ・大学ごとの団体振込、代理振込をされないようご注意ください。

注）同時期、本部事務局へ年会費を納入されるかと思いますが、年会参加費の振込先とは異なりますので、お間違いないようご注意ください、お振込みをお願いします。

◆各種費用について

- 会員事前申込締切日まで
参加費 3,000円 資料代 3,500円
- 会員（当日）・非会員
参加費 4,000円 資料代 3,500円
- 後援関係の教職員、学生（会員）
参加費 無料 資料代 3,500円
- 年会論文集のみ購入される方
年会論文集費：4,000円（郵送費込み）

- ・課題研究と一般研究の両方に申込の方も参加費は3,000円（事前申込）、4,000円（当日申込）です。
- ・後援教職員・協賛企業は参加費が無料です。ただし、後援教職員・協賛企業であっても発表者は参加費が必要です。
- ・懇親会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催いたしません。

◆ 昼食について

- ・ 大学内の学生食堂（1号棟1階）がご利用いただけます（1日目のみ。11:30から営業）。食券を購入しての利用になりますので、時間帯によっては混雑いたします。
- ・ このほか大学正門前にはコンビニが1店舗あるほか、新座駅近隣にもコンビニや飲食店が多数あります。
- ・ なお2日目は学生食堂が休みのため、大学正門前のコンビニは昼食時間帯に混雑する可能性があります。2日目の昼食は新座駅近隣にて各自ご用意いただくと確実です。

◆ 宿泊について

宿泊については、各自で手配していただきますようお願いいたします。

◆会場アクセス (JR 武蔵野線 徒歩 8分)

<https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/access/>

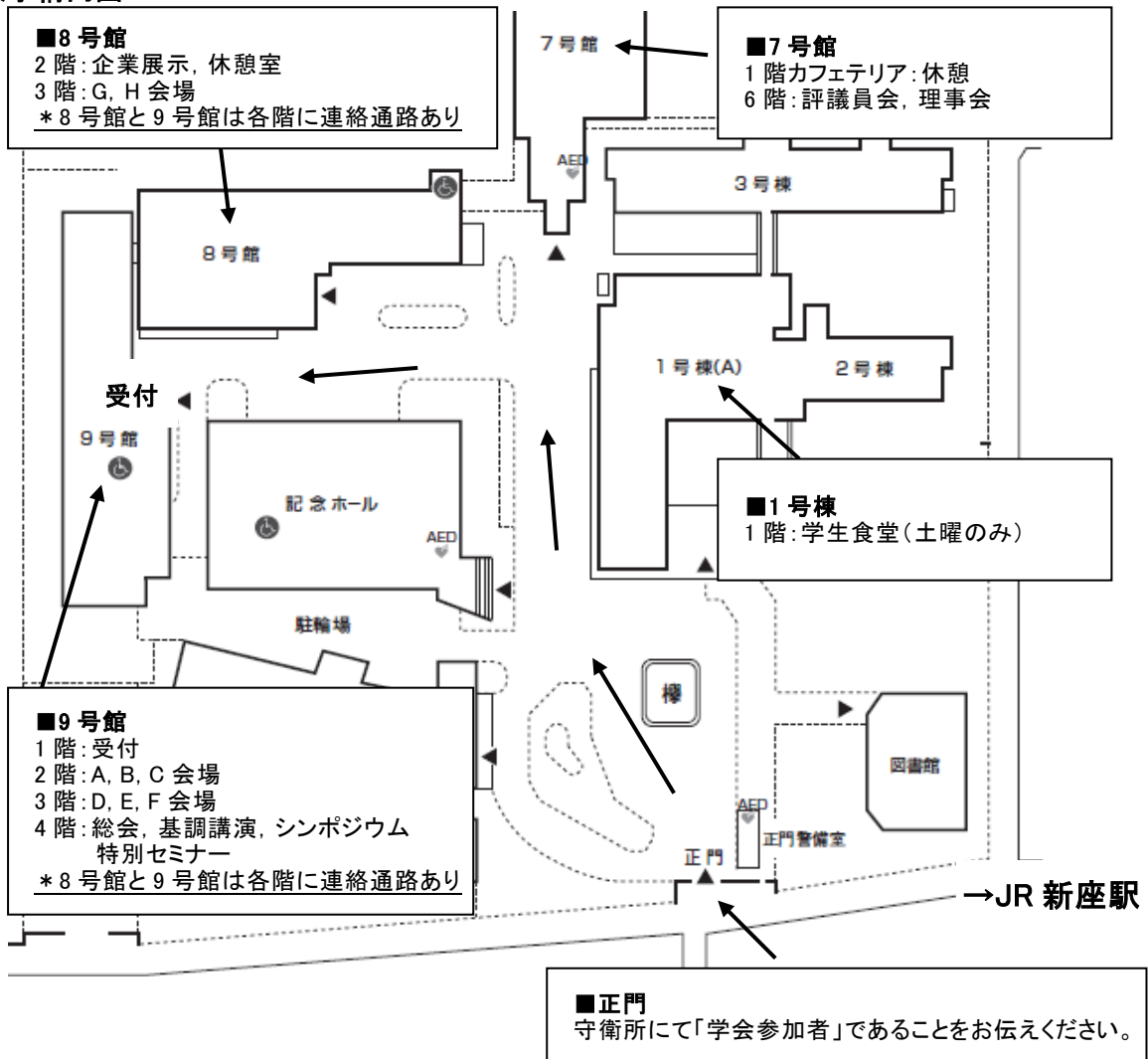
会場アクセス



キャンパスマップ



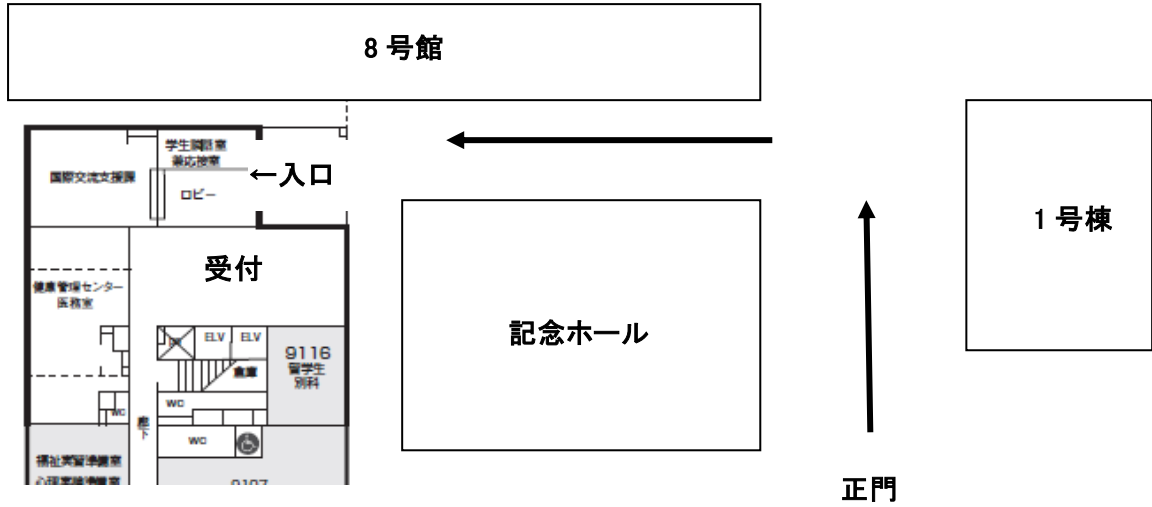
◆大学構内図



◆会場配置図

9号館 1階

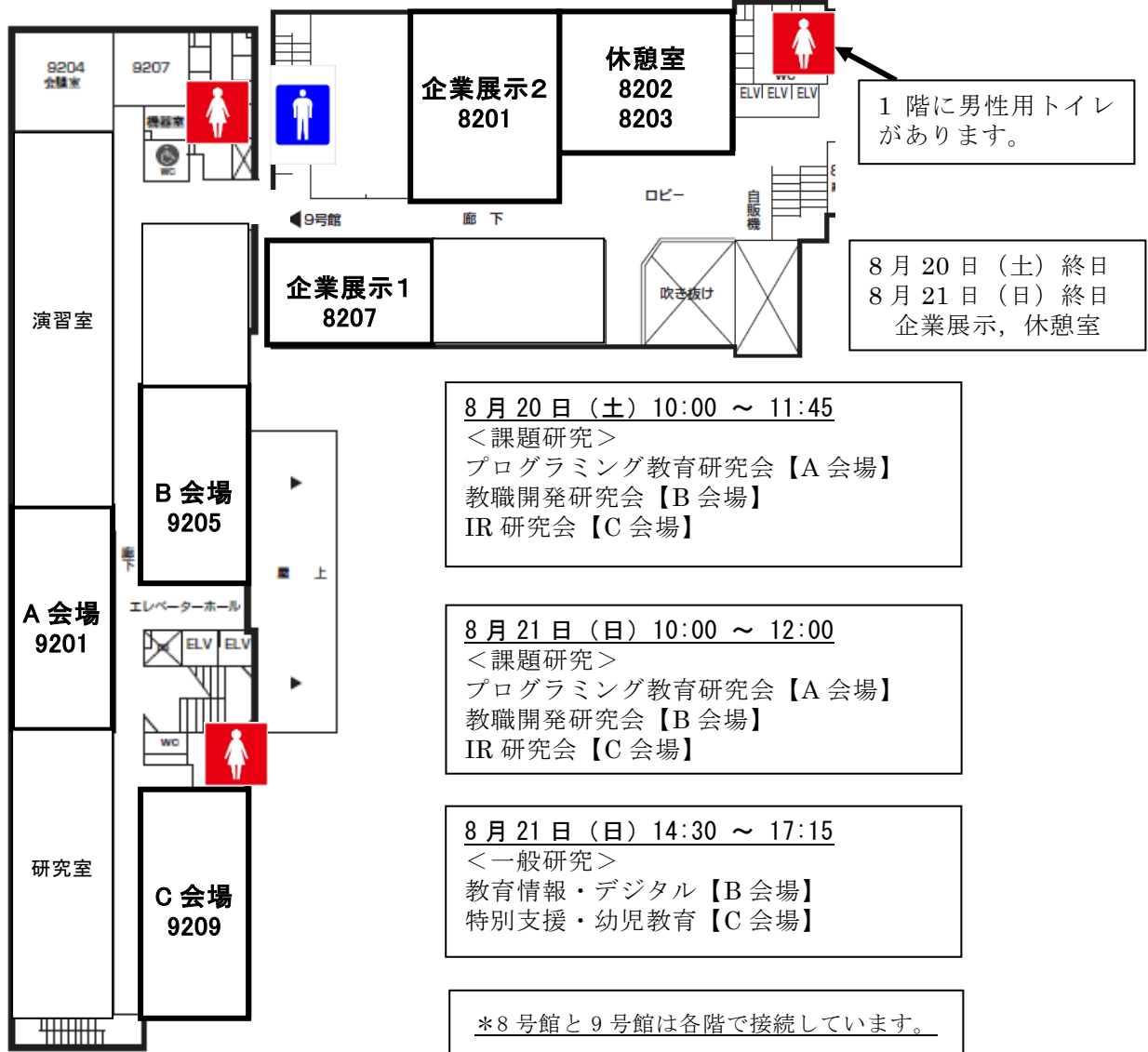
受付



9号館 2階

8号館 2階

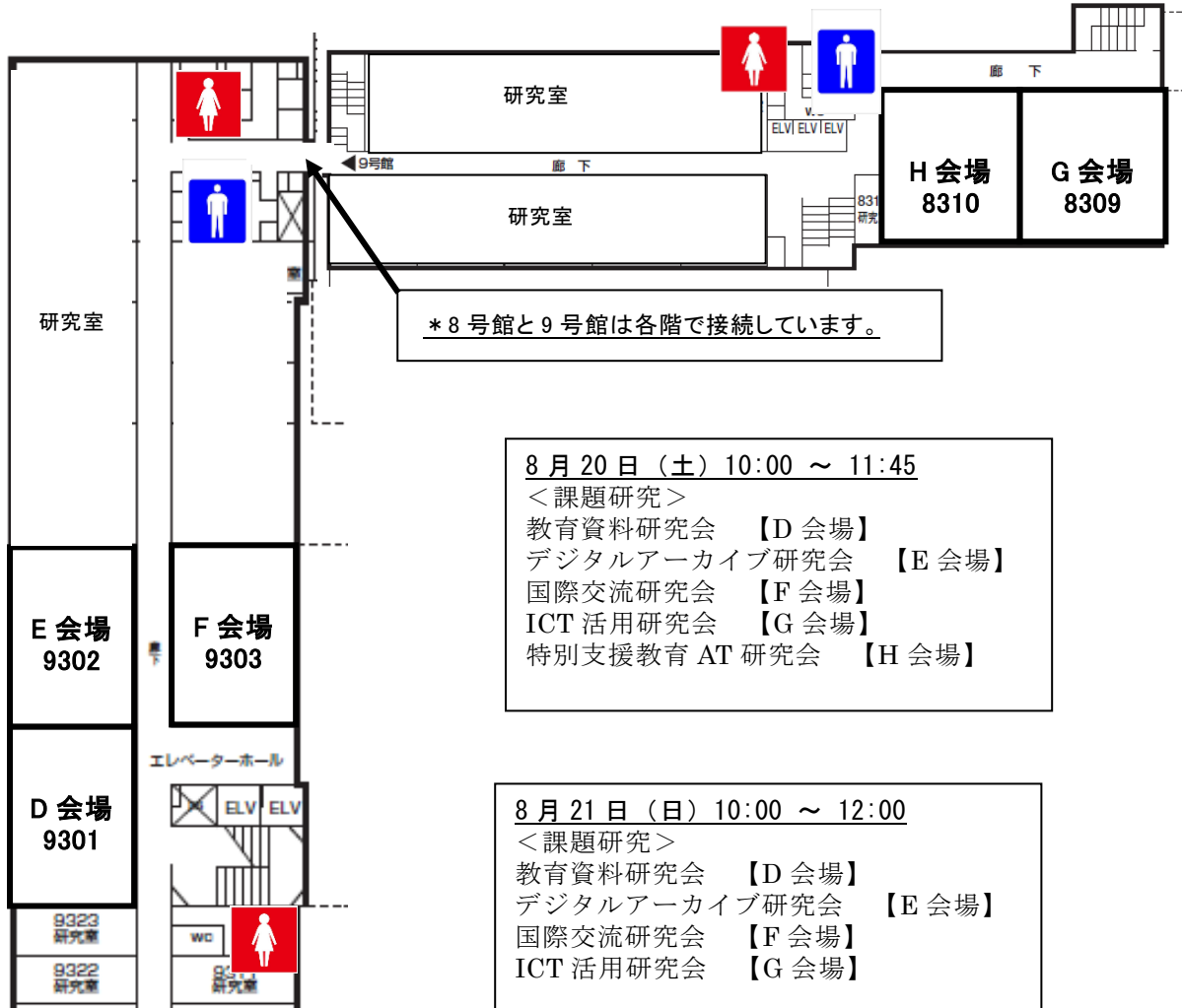
A,B,C 会場、企業展示、休憩室



9号館 3階

8号館 3階

D,E,F,G,H 会場



* 8号館と9号館は各階で接続しています。

8月20日(土) 10:00 ~ 11:45
 <課題研究>
 教育資料研究会 【D会場】
 デジタルアーカイブ研究会 【E会場】
 国際交流研究会 【F会場】
 ICT活用研究会 【G会場】
 特別支援教育 AT 研究会 【H会場】

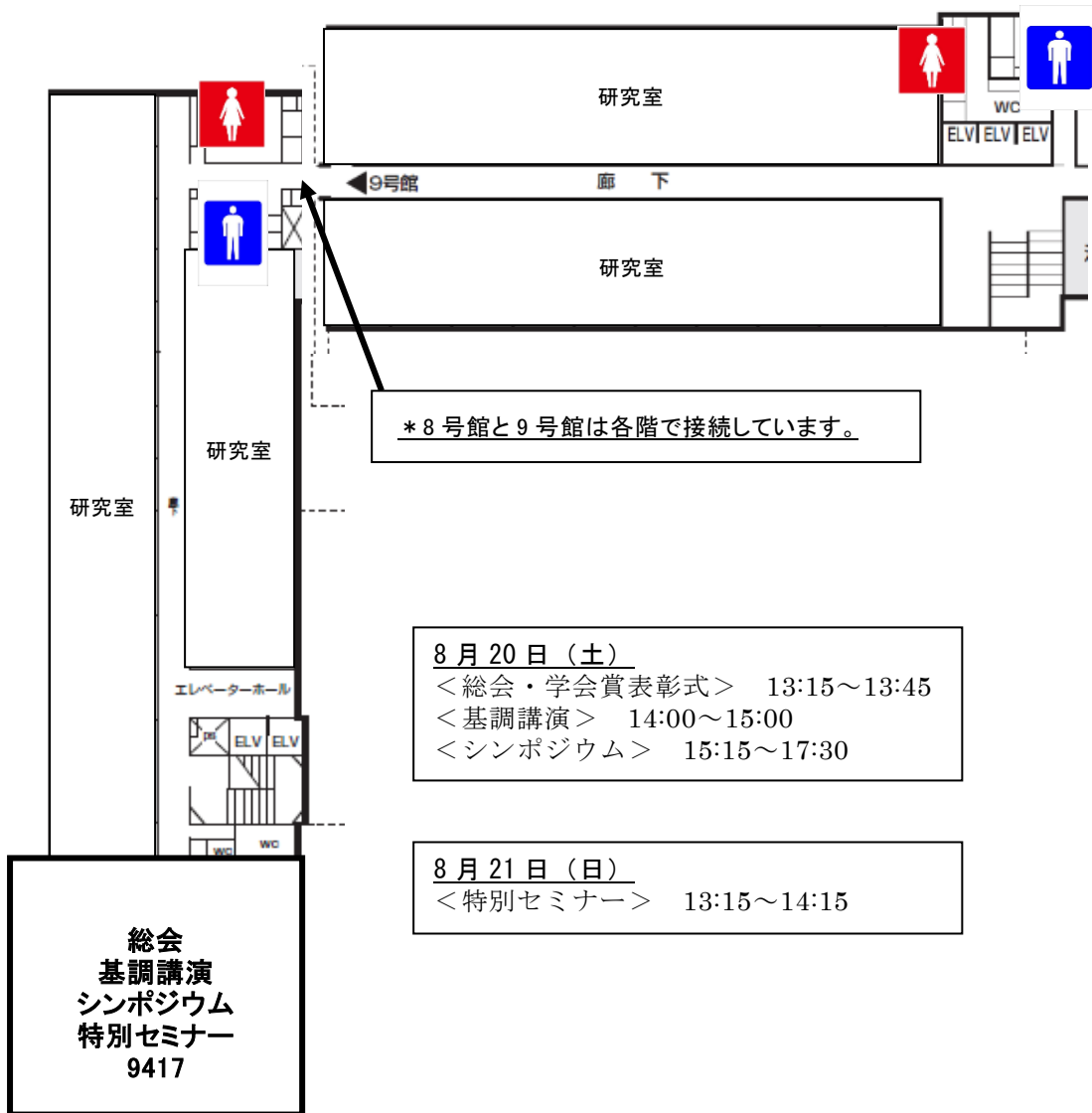
8月21日(日) 10:00 ~ 12:00
 <課題研究>
 教育資料研究会 【D会場】
 デジタルアーカイブ研究会 【E会場】
 国際交流研究会 【F会場】
 ICT活用研究会 【G会場】

<一般研究>
 教育実践・他 【H会場】

8月21日(日) 14:30~17:15
 <一般研究>
 中等教育・地域連携 【D会場】
 遠隔・図書館・評価尺度 【E会場】
 情報リテラシー・情報デザイン・メディアリテラシー 【F会場】
 プログラミング・デジタルアーカイブ 【G会場】
 可視化・アクティブラーニング・eラーニング 【H会場】

9号館 4階

総会、基調講演、シンポジウム、特別セミナー



日本教育情報学会 運営本部事務局

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目698-1

大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 若杉研究室

TEL: 090-1026-1413

FAX: 050-3488-5061

E-mail: jsei@m11.osaka-kyoiku.ac.jp

HP: <http://jsei.jp/home/>